

3. 人格・素行

4. 学業・研究の状況など

その他

推薦書記入要項

- ※ 志願者は、推薦書様式に本要項を添付して推薦者に依頼してください。
- ※ 推薦者は、大学又は大学院の指導教員（指導教員に依頼できない場合は、志願者の人格、素行、研究意欲などを熟知している教員等）としてください。
やむを得ない事情で大学の教員等が推薦できない場合は、職場の上司等志願者を客観的に評価できる人物としてください。
- ※ 外国語で記入する場合は、日本語訳も作成し、同封してください。

1. 黒のボールペン又はインクを使用し、省略しないで正確に記入してください。
2. 表面、裏面のいずれの事項にも漏れなく記入してください。
「推薦する理由」以下の項目については、パソコン等で作成したものを枠内に貼付又は直接プリントしてもかまいません。
3. 内容について問い合わせることがありますので、推薦者の電話番号は必ず記入してください。
4. 志願枠が「国際医療人枠」・「地域枠」のいずれかを確認してください。
志願者に対して以下のことを確認し、「 確認した」のチェック欄（）にチェックしてください。
【確認事項】
 - 国際医療人枠
「国際医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書」の内容をよく理解し、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させることに貢献する強い意欲を持っているか。
 - 地域枠
「地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書」の内容をよく理解し、旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する強い意欲を持っているか。
5. 「推薦する理由」欄は、推薦する根拠となった事由と医学を学ぶ能力と適性があると認められる理由を具体的に記入してください。作成にあたっては、各志願枠の趣旨をよくお読みください（以下参照）。
6. 推薦者が厳封した後に志願者本人に渡してください。

[各志願枠の趣旨]

【国際医療人枠】

旭川医科大学は、地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献するとともに、医学・医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医療者を育てることを教育の理念・目標に掲げています。国際医療人枠は、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させることに貢献し、その中核を担う医師の育成を目指します。卒業後は、単に外国で医師としての経験を積み上げるということではなく、地域で医療に従事しながらも、その視線は常に世界を見据え、高い向上心と志を生涯に亘って持ち続け、本学の医学・医療活動の発展に貢献するリーダー的な人材に成長することを期待しています。

具体的には下記の能力を身につけた医師の育成を目指します。

1. 世界水準の医療を実践するために、国際的視野にたつて、絶えず最新・最良の知識や技術を修得しつつ、臨床医として患者を診療・ケアできる。
2. 最先端の医療や医学研究を国際的にリードするために、現状の医療・医学の問題点を抽出し、これを研究解決し、その成果を国際的に発信していく。
3. 地域の医療問題を抽出し、その解決に先導的役割を果たすとともに、その手法を国際的な医療問題の解決に応用する。

【地域枠】

北海道には医師が不足している地域が多く存在し、本学卒業生が道内に残って活躍することが道民から強く求められています。そこで、北海道の地域医療に関心を持ち、医師としての適性ととも、より本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿った北海道出身の学生に入学してもらいたいと考えています。

このため、北海道の地域医療を理解し、将来北海道の医療に貢献する強い意志のある者を選抜することとし、意欲、能力、適性、将来性の視点から選抜を実施します。